

会 議 録		令和7年6月27日作成	令和11年3月末日廃棄
会議名	京都府南丹警察署協議会（令和7年度第1回）		
開催日	令和7年6月25日（水曜日）		
時 間	午後3時から午後4時40分までの間（100分）		
場 所	京都府南丹警察署 講堂		
出席者	春田会長、廣瀬副会長、森委員、海野委員、山内委員、塩邊委員、飯田委員、 今井委員、梅垣委員 計9人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、 交通課長、警備課長、広聴相談係長 計10人		
諮 問 事 項	地域警察について		
会 議 内 容	1 署長挨拶 司会 副署長 2 会長挨拶 3 各委員自己紹介 4 副署長自己紹介、各課長自己（業務）紹介 5 協議 司会 会長		
	(1) 諮問事項説明 地域警察について～地域課長 【委員】地域警察は、交番・駐在所の業務を担当しており、地域社会と共に在ることがよく分かった。交番・駐在所は事案取扱いや勤務体系から不在の場合もあると考えられるが、不在の場合の事案対応はどうなっているのか。 【警察】本署、隣接の交番や駐在所及び機動力のあるパトカー等が連携して、治安維持に間隙を生じさせない活動を行っている。 【委員】引き続き、南丹署が一致団結して管内の安全安心を守る警察活動をお願いする。 【委員】地域警察官が身に付けている耐刃防護衣等の装備品や刺又、防弾盾、防弾ヘルメット等のパトカー積載品について展示説明を受けたが、各装備共に重量があり、体力的にも相当な負担であると考えている。犯人の制圧逮捕等のためにも、平素から柔剣道等の武道を実施しているとのことであり、非常に力強く頼もしく感じる。今後も、管内の安全安心のために、武道訓練等を通じて、肉体的・精神的な鍛錬をお願いする。		

【委員】 以前、地域のイベントにおいて、パトカーや白バイの展示と乗車体験を行っていたが、パトカーや白バイは警察の顔であり南丹署と地元住民の架け橋であることから、自治会等からイベント開催に際して要望があれば、可能な範囲でパトカーや白バイを展示するなどして地元住民と触れ合うことで、南丹署への協力につながるのではないかと。

【警察】 催事主催者等から、パトカーや白バイの展示説明等について要望を受ければ、可能な限り協力させていただく。

【委員】 地元の高齢者が、突然、見知らぬメールアドレスから、ロマンス詐欺が疑われる内容のメールが送信され、対応してしまったという出来事があったが、駐在所の警察官による迅速適切な対応により被害に遭わずに済んだ。

この出来事は、地元で根差した駐在所の活動が地元住民に安全安心を与えている証であると考えられる。南丹署には、府下警察署最多の20駐在所があると説明を受けたが、引き続き、地元で根差した住民目線の活動をお願いする。

【警察】 交番・駐在所は警察と住民をつなぐものであり、警察官の制服やパトカーを見せることで住民の方に安心感を与える一方、犯罪者には犯罪を断念させる効果がある。今後も、制服の威力を発揮する街頭活動を推進する。

(2) その他

【委員】 前回の警察署協議会において、「管内の観光地に外国人観光客が白タクを利用して訪れ、白タクが違法駐車されている問題」について意見があったが、現在は、観光地でイベントが開催される際には事前に警察と主催者が開催日時等の情報共有を行い、駐在所や交通課の警察官が重点的にパトロールを行ってくれたことにより、白タクや一般観光客の違法駐車が解消され、地元住民も安心を感じている。引き続き、警察と主催者・管理者等との緊密な連携をお願いする。

【委員】 外国人観光客についてであるが、自転車で観光地を回っている団体をよく目にするが、夜間帯に無灯火で走行している状況が見受けられる。外国人観光客に対する自転車乗車マナー等、日本の法令遵守を啓発するためには観光業者、地元観光協会、観光地管理者等と連携して広報することが大切であると考えられる。

【警察】 関係機関と連携し、自動車や二輪車が集まる道の駅等において交通法令遵守や交通マナーの意識向上を訴える広報啓発活動を実施する。

【委員】 マスコミ報道されているとおり、全国的に来日外国人によるマナーや犯罪が問題となっているが、来日外国人による犯罪の発生状況はどのようなものか。

【警察】 マナーについては、国によって生活様式や慣習が違うことも原因であると言われている。犯罪の発生については、全国的に来日外国人による犯罪も発生しており、集団万引きや金属窃盗、高級車を盗む窃盗集団等も存在している。

警察としては、例えば職務質問において、人種によって区別することなく、日本人と同様に不審点を認めれば職務質問を行うなど、公正中正な職務執行

を行っている。

【委員】信号のない交差点で横断歩道を横断する人がたくさんいる時間帯は、横断待ちで停止する車両で渋滞が起きている場所がある。押しボタン式信号機の設置を検討しても良いのではないかと考えるが、設置基準はどのようなものか。

【警察】信号機設置の指針があり、交通量、交通事故の発生状況、交差点の形状等を調査・分析した上で、真に必要な性の高い場所を選定することとなっている。

【委員】本年6月1日から第13期警察署協議会委員の活動が開始されて、本日、令和7年度第1回南丹警察協議会を開催したが、委員一人一人の気付きは小さくとも、この協議会における意見提言によって大きな気付きとなり、地域の実情を取りこぼさず、住民の声を警察署の業務運営に反映させることが可能になると考えるので、今後も、警察署で行っている業務等について最新の情報を説明していただくようお願いする。

引き続き、治安維持を国民から負託されているという意識を堅持して、府民からの協力と支持信頼を得られる警察活動をお願いする。

【警察】本日の各委員からの意見については、今後の警察署業務の参考とさせていただきます。今後とも忌憚のない意見をお願いする。

6 事務連絡

次回の京都府南丹警察署協議会の開催日については、日程調整の上、連絡させていただきます。

以上

会 議
内 容

第1回京都府南丹警察署協議会の開催状況

